

# 八王子市立 下柚木小学校「平成20年度授業改善推進プラン」

## 【八王子市教育委員会教育目標】

「あふれる元気」 健康な心身・活力  
 「かがやく心」 豊かな知性と感性・個性  
 「仲間とともに」 協調性・社会性  
 「はばたけ未来へ」 意欲・積極性  
 の育成に向けた教育を推進する。

## [教育目標]

よく考える子(知性)  
 思いやりのある子(感性・道徳性)  
 たくましい子(気力・体力)

### 1 地域の実態

ニュータウン地区。大学に隣接する文教地区。  
 PTA、地域とともに活動は活発で、学校には協力的である。

### 2 地域・保護者の期待や願い

よりよい学校にしたいとの願いは強い。

### 3 期待される児童像

基礎的、基本的な学力を確実に身に付けた子ども。  
 主体的な意欲、積極的な行動や態度で課題に取り組む子ども。  
 自ら考え、正しく判断できる子ども。  
 お互いを認め合え、高め合える子ども。

《本校の現状》(「 : 八王子市学力定着度調査」「 : 児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果から分析できること)

学びに向かう力は、市と比較しても高く、学習に対しては前向きな児童が多い。  
 国語においては、話す力・聞く力、書く力、読む力、言語についての知識・理解・技能共に比較的高く、算数においても数学的な考え方や数量や図形についての知識・理解が高い。全体的に見て基礎的な力が身につけている児童が多い。反面、支援を必要とする児童もいる。

読書の時間が比較的多いが、自分から時間を見つけて取り組むことができない。  
インターネットやゲームをする時間が多い。テレビを見る時間は比較的少ない。習い事に通う児童が多い。

問題解決能力が低く、知識等は豊富でも実際に自分の身の回りで直面する問題に対して臨機応変に対応できない。決まったこと、分かっていること、容易に予想のつくことに対しては前向きに真面目に取り組むことができるが、自分で考えたり、主体的に行動しようとする力が弱い。その為、学習計画なども立てられず見通しが持てないので、児童自身で行う学習が継続しない。従って、家庭学習の時間も少ない

社会参画力が低く、奉仕的な活動等に対してそれほど前向きでない。まず、地域の中でそれぞれつながりを持ち、地域と密接に関わるような機会が少ない。その為、全体的に地域内でのつながりも希薄になっている様子である。

国語：語、熟語の意味、文意の読み取り、主語・述語のとらえが不十分。日常的に辞書を活用させる。文章の中の主語・述語をしっかりとらえさせる。一文ずつ、丁寧に読みこませる。

算数：四則混合計算、図形の面積、図形の特色、表・グラフの読み取りが不十分。計算の決まりの理解、計算の習熟を徹底させる。図形を実際にかく作業時間を授業の中で多く取り入れる。表・グラフから読み取れることを文章化する学習を丁寧にを行う。

## 《本年度本校における学力向上のための重点方針》

基礎的・基本的な学力の確実なる定着を図る指導法の工夫や改善。  
 主体的な意欲、積極的な行動や態度で課題に取り組めるような教材開発を開発及び指導法の工夫。  
 各教科の授業時数の確保及び指導計画、評価方法の改善。  
 個に対応したきめ細かな指導。

(本年度の学力向上の具体策)(いつまでに、どの程度)

### 1. 授業改善(基礎・基本の定着、体力の向上を目指して)

(指導方法・内容の改善)  
 ・課題解決的学習の展開と課題提示の工夫、まとめ・評価の実施、興味、関心、理解を深めるための教材・教具の工夫、児童のつまづきを踏まえた単元指導計画の作成、児童一人ひとりに応じた個別指導の実施と、算数での習熟度別を含む少人数指導の効果的な実施。  
 ・音読、計算、漢字等の繰り返し反復練習の実施。・作図、作文・文章表現・発表、詩の朗読・暗唱、実験・体験、辞書・地図・資料の活用等の活動を多く取り入れた学習の展開、発達特性に合った様々な運動に取り組み、技能や基礎体力の向上を図る。

### 2. 授業時間の確保

(朝学習の時間の改善と活用) ・火、水、金の朝8時30分から45分までの間を利用し、反復練習、詩の朗読・視写、読書、読み聞かせ、個別指導等を行う。  
 ・担任が教室で指導できるよう、朝の打ち合わせ時間を変更する。  
 (45分授業の確実な実施)

朝の打ち合わせ時間を変更することにより、8時50分からの1校時開始を確実にする。

### 3. 人的配置

・少人数加配教諭、嘱託員、メンタルサポーター、インターンシップ学生、ゲストティーチャー等の活用。

### 4. 教師の資質向上

・校内研究の充実・・・研究授業6回、20年度の研究発表にて、成果を確認する。

### 5. 家庭・地域との連携

・小教研への積極的な参加、本校でのパワーアップ研修の実施、その他研究会への積極的な参加、若手教員の育成。  
 ・学校での学習に加え、家庭学習を行うことにより学力定着を図る、・・・保護者の理解と協力。  
 ・長期休業期間を活用した個別指導、能力別指導、・・・保護者の理解と協力、児童の学力向上。

### 6. 小中一貫教育に向けて

・小中一貫に向けて、出前授業など中学校や近隣の小学校との連携を図る。

## 《学力向上の成果の検証及びその評価方法》

各教科における評価計画及び評価規準の見直しを図り、適切な評価を行う。

外部評価や行事・学校公開での保護者からのアンケートを生かして、改善に努める。

校内研究に基づいた、検証授業を行い、児童の変容を確認する。

学習活動について児童自身が振り返る自己評価を行う。

児童の作品や観察カード、ワークシートやノート等を評価し、学力向上の成果や学習の理解を分析する。

担任に加えて、少人数担当教員、専科教員が連携して、個々の児童に対して多面的な評価を行う。

「八王子市学力定着度調査」「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果を分析し、実態を把握する。

学力向上の成果を通知表に記載する。

個に対応した指導を行い、支援の必要な児童の指導の成果の見直しを行う。

# 教科等の現状と課題及び授業の改善点

(第1学年)

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	ひらがなを正しく読むことはできるが、鏡文字を書いてしまう児童がいる。 楽しく音読しているが、発音が不明瞭な子、声の小さい児童がいる。 言葉として読めない子が数人いる。	書く機会を多くとり、正しいひらがなが書けるように指導していく。 発音、発声の技術を取り出し、訓練する機会を多くする。 フラッシュカードを使い、3文字・4文字がすらすら読めるように朝学習の時間を活用する。 国語の授業時間の導入時に毎回5～7分程度、滑舌・口の体操・発音練習・呼吸の仕方等を継続して行う。 詩集「ひばり」を余剰時間に活用し、音読する。	音楽	楽しく歌っているが、どのような歌い方をしている児童もいる。 ピアノを習っている児童と習っていない児童で、鍵盤ハーモニカの習熟に差がある。	歌集を活用し、季節や行事の歌、童謡も含めた、たくさんの歌を歌いながら、自分の声に気付かせていく。 リズム・音など基礎、基本の学習をしながら、簡単な演奏して楽しむことができるように工夫する。 鍵盤ハーモニカをスモールステップで指導し、合格シールをつける。 歌や演奏を聴き合う時間を作る。
社会			図工	楽しく作品作りに取り組んでいるが、作品作りに躊躇する児童もいる。 成長に応じて必要な教材を選び、作品作りに対してイメージをもてるように工夫し、意欲的に取り組ませる。 色々な素材に触れるような年間計画を立てる。 楽しく作品作りに取り組んでいるが、躊躇する児童もいる。	学習への導入や作品作りに対するイメージを持てるように工夫したり、色々な素材に触れたりする等、意欲的に取り組めるようにする。 児童が「作りたい」「描きたい」という気持ちを持てるような作品提示をする。 素材によって児童が惹きつけられることもあるので、色々な素材に触れられるような年間計画を立てる。
算数	計算はよくできるが、場面を式で表すことが不十分である。	具体物、半具体物を用いた指導を多く取り入れる。習熟を図るための反復練習を多く取り入れる。 正しい数字が書けるように、繰り返し指導していく。 正しく立式するために、問題を具体物や絵、図で表す習慣をつける。	家庭		
理科			体育	運動は好きだが、全体的にバランス感覚等の調整力が弱い。	色々な運動をして、調整力、基礎体力の向上を図る。 色々なバリエーションをつけて、走らせる、跳ばせる等を行う。 ポディーイメージをもつために、自分の体を回転させたりする運動を多く取り入れる。
生活	植物を大切に育てようとする意欲に個人差がある。	観察カード等を工夫して、意欲的な活動につながるようにする。	総合的な学習の時間		

## その他（道徳・特別活動等）

意欲はあるので、丁寧な言葉遣い、挨拶を毎日の生活の中で、繰り返し指導し、一層の定着を図る。

初めての集団生活の中で、協力することや、ルールを守ることの大切さを、繰り返し指導し、クラスの一員としてかけがえのない存在であることを自覚させる。

(第2学年)

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	事柄の順序を考えながら話す力はほぼある。経験したことについて順序を追って、書くことはできるが、自分の考えが明確になるような構成(組み立て)が苦手。文章を読んだり、音読して楽しんだりする経験が少ない。本を読むことを好むが、内容に偏りがある。	構成(組み立て)が意識できるよう、全体指導を行う。音読集を利用し、音読したり暗唱したりしながら、文章を読む楽しさを味わわせる。色々な内容の本に親しめるように、読書活動を充実させる。週1回、日記指導をし文章を書く苦手意識をなくさせる。週1回、朝学習に読書の日を設け、本に親しめるようにする。	音楽	楽しく歌ったり、演奏したり、身体表現をしたりしている。友だちと一緒に、音楽活動することや音楽を聴くことの意識は、まだ弱い。	歌集を活用し、季節や行事の歌、童歌も含め、たくさんの歌を歌う。曲の中で、基礎基本を学習しながら、演奏を楽しむことができるよう工夫する。歌や演奏を聴き合う活動を取り入れる。
社会			図工	想像力を働かせて、様々な教材を使って、楽しみながら表現する力はある。	児童が興味をもてるような教材開発に取り組む。
算数	文章題を理解し、演算決定をする力がやや欠けている。	文章を読んで、図や表に表す時間を設けて、演算決定の助けをする。補充的な問題を作成し、反復練習を徹底させる。数字を使ってのゲーム等を効果的に取り入れながら、頭だけでなく、体験を通して「楽しい」「面白い」と思えるような教材を工夫し、意欲と結びつけた学習の定着をより一層図る。週2回、朝学習に計算プリントを行わせ、計算力をつける。	家庭		
理科			体育	走・投の力はあるが、体を支持する力、柔軟性には差がある。ゲームが楽しくできる。	運動力の差を考慮して、どの児童も楽しく運動できるような教材開発を行う。ゲームで児童が、自分たちのルールを作り出せるような指導計画を立てる。様々な運動に取り組む中で、基礎体力の向上を図る。
生活	具体的な活動や経験が乏しく、生活上必要な技能が備わっていない児童も多い。	身の回りにある材料を使って、遊び道具を作ったり、自然と関わりながら生活を楽しくする工夫や技能を育てる。そうした活動を通して、物の仕組みに気付かせ、科学的思考の芽を育てる。	総合的な学習の時間		

その他(道徳・特別活動等)

色々な場面を通して、集団生活のルールや社会規範について考えさせる。心のノートを利用したり、自分の生活が振り返られるような題材を工夫したりする。議長団を構成し、学級会台本を活用しながら、学級会の話し合い活動を充実させる。

# 教科等の現状と課題及び授業の改善点

(第3学年)

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	本を読むのは好き。 音読が好きで、生き生きと声に出して読むことができる。 個人差はあるが、書くことに対する抵抗は少ない。 大まかな内容は読み取れるが、細かい表現に気を付けて、深く読み取る力を育てていきたい。	いろいろな分野の本に目を向けられるような環境作りや、読書指導の充実を図る。1週間に1~2冊は本を読めるように、多読を励行する。 日記や詩を読んだり書いたりする等、色々な場面で書く機会を多くし、自分の気持ちを詳しく表現できるようにする。 目標に合った教材を精選していく。	音楽	3年生から始まるリコーダーでは、ソ・ラ・シの曲を進めた。 きれいな声に気を付けて、歌える児童も多い。	リコーダーでは楽しい曲を取り入れ、関心を持てるようにしたい。また、できない子には、個別指導を行うようにしたい。 きれいな声を出そうとしている児童をほめてゆく。 よい演奏や楽しい演奏は集中した時に味わえることを教えていく。
社会	学校外での活動は意欲的で、見たこと聞いたことに関心が高く、理解もできている。 地図や資料から読み取ったり、活用したりする力をつけさせたい。	児童がより興味をもって学習していけるように、体験的な活動を計画していく。 地図や資料の見方などは丹念に指導を重ねていく。 日本地図を掲示し、興味・関心を高める。	図工	全体的に積極性があるが、個別対応を特に必要とする場合もある。 用具の扱いが不慣れなものが若干ある。	基本的な用具の使い方を反復指導し、習熟を図る。特に水彩絵の具やハサミ、カッターについて、担任と十分連携をとりながら、なるべく複数で指導にあたる。また、クラスのグループで援助し合うように進める。
算数	個人差はあるが学習の定着の差は少ない。 計算は正確にできる子が多い。 文章題からの演算決定力は、引き続き指導が必要である。	文章を読んで図や表などに表す時間を設けて、演算決定の助けをする。 補充的な問題を作成し、反復練習を徹底する。 また発展的な問題を用意し、指導の充実を図る。 生活に根ざし体験的な学習を取り入れる。	家庭		
理科	観察の視点を持ち、意欲的に取り組み、観察したことを絵や言葉で書き表すことが上手にできる。 興味をもったことを自分から調べたり、生き物を育てたりする様子が見られた。	2学期以降は、実験の授業がある。課題を持ち、自分の予想をたて、過程と結果をしっかりと観察できるよう指導していく。課題 予想 実験(観察) 結果 まとめ という基本的な学習方法を理解させる。 児童が意欲をもって取り組めるよう、教材・指導法の工夫をしていく。	体育	体を動かすことは好きである。楽しんで運動に取り組む児童が多い。 運動会の踊りの練習に熱心に取り組み、上手になった。 周りの様子を見て、自分で判断して移動したり、ルールを正確に理解して活動することを苦手とする児童もいる。	児童の発達の特性に合った運動(ルール・必要とする技能や体力)を実践することによって、運動の楽しさや喜びを味わわせ、技能や基礎体力の向上を図る。 1時間の授業の中で、体作りの運動を5~10分間程度取り入れ、基礎体力の向上に役立てる。 効果的な学習カード、系統立てた単元計画を作成する。グループ学習の有効性を活用し、学び合い・教え合い・認め合い・高め合う学習方法を定着させる。
生活			総合的な学習の時間	カイコの飼育には、意欲を持ち、楽しんで取り組める。 問題解決の力をつけたい。	安全マップ作りや学校林での活動など、児童の発達段階に応じた課題を設定し、課題発見・課題追求・課題解決能力を育成する。 課題を追求・解決するために、情報機器や書籍、インタビュー等、調べるための多様な方法を提示し、課題解決に役立てる。

## その他(道徳・特別活動等)

話し合い活動を活発にしたい。  
自分の考えや意見を言うことはできる子が多い。  
人の意見をよく聞き、それをふまえて、自分の考えを深めていこうとする姿勢を育てていきたい。  
学校やクラスなど、自分の周りに目を向け、自分たちで解決できることは自分たちで考えられるような力を育成する。  
命の大切にする心・自尊感情・思いやりを育てる教材や授業作りを工夫する。

# 教科等の現状と課題及び授業の改善点

(第4学年)

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	書く力、読む力に個人差がある。正しい表記で書く、より詳しく書く、自分の考えを書く等の力をつけさせたい。読む力については、だいたい定着してきているので、読みを深める力をつけさせたい。 とめ・はね・はらい、字形に気を付けて、正しく丁寧に書くことを習慣づけたい。 本に親しむ姿勢があるので、より多くのジャンルに目を向けるなど幅広い読書力を付けていきたい。	良い作品を選び、楽しみながら、字や文に触れる機会を持つ。 詩や短文を朗読したり、視写をすることで、文や文字に抵抗をなくす(月2回程度)。 スピーチ活動の活発化で話す力や聞く力を付けていく。 身近に本を置くことで、本に興味を持ち進んで読書できるような環境作りや読書週間などの取り組みで持ち読書指導の充実をはかる。	音楽	きれいな声で歌える児童が多くなった。全体で合わせる喜びを味わえるようにさせたい。また、演奏中に集中力を持続させることが課題である。	色々な曲の中で、声の出し方、発声法を取り入れていく。また、たくさんの曲を通して、それぞれの曲のよさを発見し、イメージに合った歌い方ができるようにする。 個別指導やテストの時等、個にあったアドバイスをし、発声、音程に気を付けて歌えるようにさせたい。
社会	社会的なことに興味をもっている児童が現れ始めているが、体験や知識の幅が狭く個人差が大きい。自分たちの生活を支える社会の仕組みについて目を向けさせたい。 資料(表やグラフ)を読む力が不十分のため資料の読み取りができない児童が多い。	作業や体験を取り入れ、児童が興味を持って持続できる教材作りをする。 見学の機会をできるだけたくさん取り入れ実際の様子を体験し、まとめたり発表し合うなどの活動を持つ。(ゴミ・水道・消防・交通安全) 共同作業や意見の交流などを行い、情報を交換し、知識を増やしたり考えかたの幅を広げる。	図工	活動場面では、意欲的な面が見られる。 十分に時間をかけて完成度を高めたい。	達成感が得られる、手応えのある教材を時間をかけて取り組む。 完成の喜びを味わわせる。
算数	毎日の積み上げで基本の力は付いているが、苦手意識の強い児童も多い。 特に、二桁のかけ算や割り算、文章題などに、抵抗を持つ児童が目立つ。 コンパス、分度器など新しい教具使い始め、興味を持って使っている。しかしまだ充分使えているとはいえない。	興味を持てるように導入を工夫したり、わかりやすい教材や教具を工夫することで、児童の意欲を高める。 少人数指導を取り入れ、できるだけ個別に実態を把握し、実態に合った指導をしている。 反復練習や家庭との連携を取り入れ、計算力などの基礎の力をさらに確実なものにする。	家庭		
理科	観察や実験に興味深く取り組むことができる。 ポイントをおさえながら観察・実験したことを丁寧に記録する力をつけさせたい。 積極的に考えを出し合い、予想を立てて実験に取り組むことには個人差がある。	学習のねらいに沿った教材・教具を工夫する。 学習内容に沿った植栽を進め観察授業の充実を図る。 実験結果や観察をまとめたり、発表したり、話し合ったりすることで科学的思考の向上を図る。	体育	比較的体を動かすのが好きで、どの領域の運動も進んで取り組み力をつけている。 周りの様子を見て、自分で判断して動いたり、ルールを正確に理解して活動することを苦手とする児童もいる。 体の機能や成長について興味深く学習している。	「体ほぐしの運動」を毎時間取り入れ、友達とのふれ合いを意識的に持つ。 グループ学習を基本にし、補助の方法を学び合わせることも、ポイントに沿った評価をし合う。 VTRや副読本などの資料を活用する。
生活			総合的な学習の時間	多くのことに興味を持ち前向きに取り組むが、課題解決するための道筋を考えたり、深く追究したりする力は十分ではない。 情報機器の操作に慣れている児童が、抵抗感のある児童もいる。多様な活用を学ばせたい。	児童の発達段階に応じた課題を設定し、課題発見・課題追究・課題解決能力を育成する。 情報機器を活用した学習方法を工夫する。 学習したことをまとめ、発表する力(表現力)を育てる。

## その他(道徳・特別活動等)

道徳では、命の大切さ・生きる心・社会の一員としての規範意識を育てるための教材を工夫する。

道徳で学んだことを一般化できるように日々の生活の中で意識化させる。

学級活動では、学級の問題を自主的に解決し、協力してよりよい生活が送れるような活動を工夫する。

# 教科等の現状と課題及び授業の改善点

(第5学年)

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	<p>聞く力・話す力について:自分の言葉で話すことができないことが多い。</p> <p>書く力について:語彙が少なく、一括りの言葉で表現してしまうことが多い。</p> <p>読む力について:個人差が特にあり、言葉の理解が少ない子は、文脈に沿って理解する力が弱い児童もいる。</p>	<p>スピーチ、話し合い活動に力を入れ、メモなど有効にとりながら、聞く・話す力をつけていく。</p> <p>授業の中で、読み取りを深めたり要旨をまとめたりする機会を多くする。また、文章から読み取った意見を交流し合い、多様な考え方を知る。</p> <p>辞書を活用、言葉の文法の基礎など学習しながら、読み取る力をつけていく。</p> <p>読書1万ページを通し、読書力をつける。</p>	音楽	<p>発声に気を付けて歌えるようになってきている。</p> <p>鑑賞では、音楽的な理解を深めるまでには至らなかった。</p> <p>色々な音楽を身近に感じられるようにしたい。</p> <p>みんなで合わせる喜びを味わう。</p>	<p>自分一人の声だけではなく、友だちと合わせたリ、ハーモニーを楽しめるよう、重唱、グループ唱の活動を増やす。</p> <p>生の音楽に触れる機会を設ける(チェロコンサート)。</p> <p>音楽を特徴づけている要素を説明したり、鑑賞する上での目標を提示したりする。</p>
社会	<p>資料(グラフ・地図)の読み方でつまづいてしまう。</p> <p>具体的な生産活動のイメージがもてない。</p> <p>調べ学習において、資料を収集しまとめる力の個人差が大きい。</p>	<p>資料を比較して、読み取れる力を養う。</p> <p>資料上の数値と具体的な生産活動が結びつくよう、写真・資料の提示を工夫する。</p> <p>新聞・図書・インターネットなどを使った資料収集の方法がしやすいように環境を整える。</p> <p>単元ごとに新聞などを作り、理解を深める。</p>	図工	<p>全体的に真面目に取り組む。</p> <p>アイデアや表現がやや乏しい面がある。</p>	<p>創意工夫する力をつける。発想が広がり、発展するように促す。</p> <p>多面的な表現や視野が広がるように、資料を多く与え、同学年の作品等で、刺激し合う。</p>
算数	<p>計算技能はあるが、工夫して考える力が弱い。</p> <p>論理的な思考を組み立てる力が弱く、文章題につまづきやすい。</p> <p>個人差が大きい。</p>	<p>計算練習とともに、演算の意味や必要性を考える場を多くする。</p> <p>文章の内容を図に表し、文章題の具体的理解を図る。</p> <p>ひとりひとりの力を把握し、つまづきを早期に発見し課題を明確にする。</p> <p>日々の算数ドリルやプリントを通し、理解を深める。</p>	家庭	<p>実習等、進んで取り組んでいるが、個人差がある。</p> <p>学習したことを、毎日の生活の中で生かす姿勢をより伸ばしたい。</p>	<p>教材、教具等を出来る限り幅広く準備し、一人一人に合った実習が出来るように工夫していく。</p> <p>自分の生活を見つめ直し、より豊かな生活を送るには、どうしたらよいか考えさせる時間をとる</p> <p>担任との連携を取り合って進める。</p>
理科	<p>観察、実験に興味や関心を持って取り組んでいる。</p> <p>既習事項をもとに、予想を立てながら学習を進める力を伸ばしたい。</p> <p>お互いに意見や考えを出し合う中で、より学習を深め合う姿勢を身に付けさせたい。</p>	<p>より興味や関心を喚起させるような教材や実験を工夫していく。</p> <p>毎時間、予想と結果を比較し、そうなった理由を常に考えさせ、ノート作りを進める。</p> <p>多様な考えが出せるよう、話し合いや発表を工夫する。</p>	体育	<p>遊びを含め、運動の幅が狭い。</p> <p>基礎体力(腕の力・脚力・柔軟性)が弱い。</p>	<p>多様な運動を紹介し、取り組む機会を増やす。</p> <p>それぞれの運動技能を明らかにし、それを高める道筋をはっきりさせる。</p> <p>1時間の授業の中で、体作りの運動を5~10分間程度取り入れ、基礎他力の向上に役立てる。</p> <p>グループ学習の有効性を活かし、学習カードを工夫する。一人ひとりのめあてやグループのめあてを明確にする。</p>
生活			総合的な学習の時間	<p>体験を通して、人の営みについて考えていく経験が少ない。</p> <p>課題を見つけ、調べ解決しようという意識が薄い。</p>	<p>米作りなどの体験的活動を通し、人の営みに近づき学習活動を工夫する。</p> <p>課題を追求できるような環境が整えられるように工夫する。</p>

## その他(道徳・特別活動等)

道徳では、命の大切さについて繰り返しふれることで、かけがえのない存在と思える豊かな心を育てる。また、自分の周りの人と前向きに関わりをもち、社会の一員としての集団生活を送る大切さを考える。

学級活動では、自分たちで企画運営していくような活動や、集団の中で自分を見つめられるような活動を多く取り入れる。

朝学習や家庭学習を通して、学習の習慣や継続の教科を図る。

教科等の現状と課題及び授業の改善点

(第6学年)

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	課題に対して根気よく取り組む児童が多いが、読書や漢字・音読等、自分で計画的に学習していく力が弱い。自分なりの表現方法を持っている児童が少ない。自分の思いを表現する語彙が少なく、ひとくくりにしてしまう。	朝自習の時に、詩の視写・暗唱・イメージ化を図る。 スピーチ原稿を日常的に書いていく。 学習の計画を立てて、毎日学習する習慣をつける。 発声発音のトレーニングを日常的に行う。 すぐれた文学作品を、叙述に即して丁寧に読み進め、語彙力・読解力をつける。	音楽	子どもらしい声で、一生懸命歌う児童が多い。ハーモニーの楽しさ、よさを感じさせ、歌う楽しみを味わわせたい。 鑑賞では、音楽の特徴や観点をワークシートにまとめてきた。	発声や発音を部分的に取り上げ、素敵なハーモニーへ近づける手だてを示す。 2学期には変声期について説明し、声が出づらい子には、無理のない発声を心がけるようにする。 鑑賞において、ワークシートのまとめや発表を通して、新たに楽曲の特徴を見つけ出せるようにしたい。
社会	日本の歴史について学んでいる。絵や写真を見たり、資料を調べたりして、その時代のイメージを形成し、それをもとに新聞や年表を作成し、自分の考えをまとめている。	時代背景を資料から読み取り、自分が生きている今、現在に引きつけて比較しながら考える姿勢を形成する。そのために児童が興味・関心を持てる教材を作り、発問に工夫を加える。また、児童の考えや感想を発表交換し、刺激を受けながら、知識を深め、考え方の幅を広げる。	図工	個人差が大きくなりつつある。 意欲的だが、根気のいる細かい作業は不得手である。深く追求する力が弱い。 素描を高めるため、写生の課題を多く取り入れる必要がある。	卒業に向けて、基本的な事柄の習得に充てる。特に絵の具の使い方、混色、素描等を習得させる。 完成度が高く、意欲が続く課題を開発し教材化する。
算数	最高学年らしい落ち着きと集中力を見せる反面、柔軟な思考による数学的な発想や、そのことによる発見にやや書けている気もある。 課題に対して一生懸命に取り組むが、学習した内容が定着してしないことがある。	これまで学んできたことを新しい単元の中にも生かしながら、新しく出会う学習課題の中に、新鮮さを感じ取ってもらえるよう工夫したい。また、これまでの総まとめとして、基礎的内容の定着確認と習熟を図りたい。 過去の学習内容も、復習して繰り返し継続的にやっていく。	家庭	実習等、進んで取り組んでいるが、個人差がある。 学習したことを、毎日の生活の中で生かす姿勢をより伸ばしたい。	教材、教具等を出来る限り幅広く準備し、一人一人に合った実習が出来るように工夫していく。 自分の生活を見つめ直し、より豊かな生活を送るには、どうしたらよいか考えさせる時間をとる。 担任との連携を取り合って進める。
理科	観察・実験に興味・関心を持って取り組んでいる。 既習事項をもとに、予想を立てながら、自発的に学習を進める力を今一步伸ばしたい。 お互いに意見や考えを出し合う中で、より学習を深め合う姿勢を身に付けさせたい。	より興味や関心を喚起させるような教材や実験を工夫していく。 3年生からの学習を振り返ったり、生活経験を見つめ直す時間をとる(特に導入時)。 多様な考えが出せるよう、話し合いや発表を工夫する。	体育	社会教育のスポーツクラブに入って、日常的に運動している児童と、学校の体育以外に殆ど動かない児童との差が大きい(技能面・理解面ともに)が、授業に取り組む意欲は全体的に高い。 めあてを持って学習しているが、個別の課題についてお互いに声をかけ合い、高め合っていく力をさらに伸ばしたい。	みんなで一緒に取り組める基礎的な運動を日常的に行うよう、なわとびカード等を作成し、基礎体力の向上を図る。 グループやチーム学習を中心に取り組み、また学習カード等を活用し、一人ひとりのめあてやグループ・チームのめあてを明確にしていく。
生活			総合的な学習の時間	課題を見つけ調べようという意識が薄い(受け身的である)。 調べ学習などは、始めると熱心に取り組むことができ、発表も工夫して出来るのだが、個のがんばりが全体のものになりにくい。	子どもの発達段階に応じた明確な課題を設定し、課題発見・課題追求・課題解決能力を育成する。 パソコン等、情報機器を活用した学習方法を工夫する。 発表の機会を増やし、発表する力(表現力)を育てる。

その他(道徳・特別活動等)

道徳では、命の大切さ、自尊感情、周囲に対しての思いやりを大切に育てる。また、最上級生としての意識を持ち、日々の言動にそれを反映させる気持ちを持つように、あらゆる場面をとらえて指導していく。

特別活動では、自分たちで企画運営していくような活動を多く経験し、自らの力で活動を創り出していく力を育てる。また、最上級生として、他学年との合同活動の際は、リーダーシップを取ろうとする意欲を育てる。

読書については、学期に1回くらいテーマを決め、市の図書館なども利用しながら、本を紹介していく。

教科等の現状と課題及び授業の改善点

(少人数算数)

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
2 年	<p>具体物等、身近なものを使ったり、意識したりする中での、数学的处理が多かった。その中で、子ども達も自分たちが中心となって、操作を通して、学習を成立させる形の取り組みが多かったように思う。その中で、日常体験の多少の差が、学習の定着に差をもたらしている児童の存在も感じられた。</p>	<p>2学期以降、今後の学習においても大変重要と思われる九九の学習も始まる。日常生活と深く結びついたり、数字を使っのゲーム等を効果的に取り入れながら、頭だけでなく、体験を通して「楽しい」「面白い」と思えるような教材を工夫し、意欲と結びつけた学習の定着をより一層図りたい。</p>			
3 年	<p>学習の定着の差が開き始めている学年のように見える。元気のよさ、意欲の表れともとれる活動性が、逆に授業への集中力のまばらさにもなっているようで気にかかる。 より高い次元のことに取り組みたいという姿勢の児童も出てきている。</p>	<p>既習事項の定着の不十分さが気になる子のフォローをもう少し重点的にする必要を感じている。 どの時点でどのつまづきなのかをふまえて、新しい単元の中でどう反復、定着させていくかを意識して授業計画を立てるようにしたい。 より抽象的な思考を必要とする単元に、どう具体的に組み合わせてあげられるかにも留意したい。</p>			
4 年	<p>全体として落ち着きがあるように見られる。図形の分野でも、これまで以上に丁寧に複雑な作業が求められ、集中して授業に取り組むことが大切だと思う。</p>	<p>授業の内容に応じて、メリハリのある授業展開になるよう心がけたいと思う。 教える内容についても、指導の重点をはっきりさせて、子ども達自身の中に発見と知的好奇心を呼び起こすようにしたい。</p>			
5 年	<p>全体として落ち着いて学習に取り組む姿が見られる。つまづきの見られる児童の中に、既習の内容での理解不足が原因になっている様子が見られる児童がいる。</p>	<p>既習事項の定着に不十分さの見られる児童に対しては、その時点をきちんと分析し、定着のためのサポートのあり方を考え、実施していきたい。また、これまでよりも更に抽象的な思考による学習課題が出てくるので、つまづきやすいポイントを事前につかみ、スムーズに学習に取り組めるよう心がけたい。</p>			
6 年	<p>最高学年らしい落ち着きと集中力を見せる反面、柔軟な思考による数学的な発想や、そのことによる発見にやや書けている気もする。</p>	<p>これまで学んできたことを新しい単元の中にも生かしながら、新しく出会う学習課題の中に、新鮮さを感じ取ってもらえるよう工夫したい。また、これまでの総まとめとして、基礎的内容の定着確認と習熟を図りたい。</p>			